

# 令和4年度 学校評価報告書

学校番号( 小52 ) 長崎市立虹が丘小学校

## 1 教育目標

「明日へ、希望の虹をかける子どもの育成」

## 2 学校経営方針

教育基本法の理念を基底とし、学校教育法に定められている教育の目的や目標を基盤とする。長崎県及び長崎市教育委員会の方針に則り、本校児童や保護者・地域の実情に即し、確かな学力と豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力を身につけた、知・徳・体の調和のとれた個性豊かな子どもの育成をめざす。

## 3 重点目標

○虹が丘小の子どもは  
「自分からあいさつができる」「友達を大切にできる」「進んで自分の考えが言える」

## 4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	95	89	100	昨年度同様コロナ渦でありつづも、教職員の創意工夫ある教育実践により「教育目標達成」を実感している割合が高い。反面、時期によっては行事等が集中し、多忙感と各分掌の負担が増えたことが大きな課題であり、年間暦の検討やチーム編制等、分掌の在り方を見直す必要がある。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	88	94	70	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			30	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			20	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	92	89	40	特別支援教育を基盤として児童の実態に応じた教育実践を進めているが、「ルールやマナー」の面で課題が見られる。児童の認識と教職員が求める姿に大きな差が生じており、今後も校内に限らず地域における児童の姿にも配慮した指導を進めて行かなければならない。また、「悩みや相談に親身に対応」においては、保護者の評価が昨年度より下がっている。昨年度よりも配慮事案が増えており、その都度誠意をもって丁寧に対応しているが、保護者にとって不十分との受け止めがあることも事実である。これまで以上に児童や保護者の思いを詳細に汲み取りながら対応しなければならない。
		挨拶をよくしている	95	88	90	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	90	89	40	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	78	88	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	91	85	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	96	82	90	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	85	79	80	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	94	88	100	
清掃指導	清掃活動に一生懸命取り組んでいる	94				
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	91	89	100	各種行事、授業参観、懇談会等、コロナ対策を十分に取らながら実施することができたことは大きな成果であった。その分、行事等が集中し、児童が読書をする余裕をもてない時期があったということが課題として残る。「わかりやすい授業」「家庭学習の習慣化」については教職員も力を入れている。Chromebookの活用と週末の持ち帰りが軌道に乗ってきたこともあり、評価が高い。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	92	96	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	97	83	100	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	86	89	90	
		長崎のまちや虹が丘の地域が好きである	88			
読書指導	進んで読書に親しむ環境が整っている	76				

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	89	94	90	養護教諭や食育担当、体育主任の働きかけと具体的取組の実践により、昨年度同様、高い評価結果であった。加えて、学校保健委員会の取組もあり、「健やかな体」づくりへの三者の意識が高まっている。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	82	82	90	
		体力向上に努めている	93	88	100	
	食育	食に関する教育活動を行っている	83	97	100	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	85	100	100	各種行事や授業参観等、実施するように努めてきたこともあり、育友会や地域との連携がとれているという認識が高まっている。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	82	94	100	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	96	91	100	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			90	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	95	94	80	良好な人間関係を築き、働きやすい職場環境となるよう努めているが、それぞれの立場での考えもあり、意思疎通面で不十分であったととらえる。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			40	

## 5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

<p>項目によって、多少、肯定的評価数値の上がり下がりはあるものの、全体的に高い評価結果であるととらえる。特に、「学習指導(分かりやすい授業)」については、Chromebookの活用をはじめとした工夫された教材の準備により、本校の教育実践が充実したものであったとともに、教職員の資質向上につながったという点は大きな成果である。この点は「教育目標の達成」の評価の高さにもつながっているものととらえ、相乗効果を感じられる。反面、「業務改善」、「職場環境」に対する教職員の評価が大きく下がっており、これらの視点での改善は今後の課題である。「業務改善」の面では、時期によって行事等の取組が集中していたことも大きな要因であり、次年度の年間計画での検討を要する。加えて、教職員一人一人のスケジュールマネジメント力を高めていくことも大きな課題である。「育友会・地域との連携」では、各取組の度に連絡・相談を行い、共通理解の基に進めており、本年度は、各種行事や地域行事等が実施できたこともあり、連携の実感があつたものととらえる。次年度も、可能な限り実施の方向で進めていく次第である。「教育相談」に関しては、毎月の「心のアンケート」実施により気になる児童の話の聞いたり、状況によっては関係機関と連携したりして対応しているが、全児童の心の悩み解決には至っていないものととらえ、今後も、一人一人の表情や様子を全職員でとらえ、共通理解をもつことを重視し、校内支援委員会や教育相談体制を更に充実させながら全児童が「先生たちに見守られていて安心できる」と感じられるように取り組んでいく。</p>
--

## 6 学校関係者評価

<p>○コロナ陽性で学校を休むことがあったが、リモートで授業を受けることができ、学校の対応が良かった。</p> <p>○体操服一枚ではなく、下からTシャツ等を身につけても良いとする学校の対応が良い。</p> <p>○道路で遊んだり、よそのお宅の敷地に入って遊んでいる姿があり、地域でも注意をするが、注意された時の子どもたちの態度が良くないことがある。</p> <p>○学校で「姿勢」についての指導があるが、ランドセルの中身他他の持ち物が多くて重いことを考えると、登下校時の姿勢にも気を配りたい。持ち帰る物について、本当に必要な物を見直して欲しい。</p> <p>○学校経営に係る教職員の肯定的評価が低いことが気になる。校務分掌においてやらなければならぬ仕事がたくさんあるのだと思う。先生方の負担が軽減されることを望む。また、生徒指導に係る「悩みや相談に親身に対応している」に対する児童の肯定的評価が比較的低いことも気になる。先述の学校経営に係る評価とつながっていると思うので、子どもたちのためにも、先生方の職務環境を改善した方が良いと考える。</p>
---

## 7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

<p>○あらためて、保護者、地域との連携を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活指導面(地域での遊び方、指導された時の受け止め方などの指導)</li> <li>学習指導面(クロームブックの活用の充実をはじめとする授業改善、持ち帰りの学習用具の見直し)</li> <li>各種行事の実施の在り方(実施の有無、実施内容、具体的方策等、有用性の観点から検討を続ける)</li> <li>良好な基本的生活習慣の定着(メディアとの付き合い方を含む生活リズムの安定化)</li> <li>キャリア教育の充実(自己肯定感、相手意識の向上)</li> <li>学校たより、学級たより、各種たより、ホームページ活用の継続</li> <li>教育相談の充実(スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用など)</li> </ul> <p>○業務改善を進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>業務内容の精選(校務分掌の見直しなど)</li> <li>各自のスケジュールマネジメント力の向上</li> </ul>
--